

国立市立小・中学校長・ PTA会長等連絡会報告

令和4年11月30日 第2号
国立市立小・中学校長会 会長 日野 正宏
(国立市立国立第三小学校 校長)
TEL: 042-572-3197
FAX: 042-572-3198

令和4年9月29日(木)に、国立市役所において、第2回の会合を開催しました。立川警察署・国立市教育委員会から、国立市の小・中学生の安全確保の情報や健全育成の取組についての話を伺いました。また、各校の今年度の状況などの情報交換を行いました。

1 開会挨拶 国立市立小・中学校長会 会長 日野 正宏 (国立第三小学校長)

今日谷保駅近くのお店の開店の様子を拝見し、街の賑わいに国立市の活力を感じた。一方で千葉県の子供行方不明の事案には心を痛める。子供たちが安心・安全の中で学びが続けていけるように連携を続けたい。

2 「国立市児童・生徒の生活安全上の課題と解決策について」 警視庁立川警察署 生活安全課少年第一係長

- ・8月中の少年による検挙については、占有離脱物横領、万引等があり昨年度より多くなった。
- ・夜の繁華街は危険である。携帯の位置探査で友を探して連むなどしている。保護者は夜間の外出を制限してもらいたい。また、地域での見守りや声をかけるなどの対策を講じてもらいたい。
- ・立川警察署でも自転車による事故が増えている。自転車関係のセーフティ教室も是非検討してもらいたい。
- ・万引き、バイク事故などで補導されたときなどは、全て学校に連絡することになっているが、捜査中の案件は伝えられないこともある。
- ・不審者対応の一環として、電話番号の聞き出し事案はほぼ無くなっている。特殊詐欺などには気を付けてもらいたい。子供が絡むものはない。不審者対応としては、声かけ事案などがあるので、発生した場合は連絡をしてもらいたい。公然猥褻などの事案も出ている。薬物に関する事案は、去年はあったが今年はない。

3 「児童・生徒の安全確保と健全育成について」 国立市教育委員会 教育指導支援課長

- ・令和4年度の国立市教育委員会の事業計画から
 - ① 「命の教育」 コロナ対応については、感染予防を行い教育活動の継続していく。学級閉鎖の基準を改定した。
 - ② 「魅力ある学校作り推進事業」 Q-U調査に基づいて各校で教員の共通理解を図った対応策を実施している。その手立ての一つとして構成的グループエンカウンター研修を実施している。
 - ③ 「特別支援教育」 来年度情緒しょうがい学級を1校増設。また、特別支援教室の拠点校を1校増やして2校体制にする。近日中に国立市におけるフルインクルーシブ教育について語る会を開催予定。
 - ④ 学校と地域の方をつなぐ教育フォーラムを開催する予定。

4 意見交換・情報交換【各学校から】

〔学校の様子・PTAの様子〕

- PTAに協力してもらい、運動会、合唱コンクール、学校公開などを計画している。
- 感染予防に配慮して夏まつり、サマースクール、花火、ラジオ体操等を実施した。
- PTA広報誌を発行。家庭教育の研修(妊娠出産・プライベートゾーンの教え方)の実施。
- 一輪車の使い方を子供が決める、PTAから10台一輪車が寄贈された。
- 教育改善要望書、施設改善要望を行った。

〔健全育成に関する事項〕

- SNS学校ルールを改定する予定。
- 防犯協会と連携して安心安全に関するポスターを作製した。
- 不審者対応の避難訓練を実施した。
- 交通危険箇所について、地域の方が自発的に交通安全の見守りを行っている。

5 事務連絡

第3回は施設見学を行う予定。新設している「矢川プラス」を見学する予定。施設のコンセプトなどを説明してもらう。12月12日に実施予定。

6 閉会挨拶 国立第五小学校 保護者と教職員の会 会長

SNSの利用については保護者が各家庭で時間を決めることが大切。フルインクルーシブについて、多様な学びの場の環境が整うことが大切であり、学校とPTAが連携していく中で環境整備を進めていきたい。